

キャラクター名
天三 和盆(あまみ かずはち)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ソラリス		ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	UGNイリーガル、シエフ
	オプション		年齢	約300歳	性別	男
覚醒	探求	衝動	飢餓	初期侵食率	33	%
出自	ウォッチャー	経験	仲間との接触	邂逅	腐れ縁	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	23
肉体	1	0	0			1	行動値	7
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	4	0	0			4	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正									
白兵	1		射撃	1		R C			交渉		10
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	1	12
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
情報収集チーム	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
古代種	P	N		
ペパスチャン・エッカート(邂逅)	P 親近感	N 不安		
料理	P 傾倒	N 偏愛		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1		常	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定D+Lv 基本侵蝕+5								
オリジン:サイバー	5	2	minor	至近	自身	自動	RB	
効果: 【社会】達成値+[Lv*2]								
仮初の器	3	2	major	視界	単体	自動		
効果: 対象次majorD+[Lv+1]								
高速錬成	3	3	major		範(選)	自動		
効果: エフェクト範(選)化 自動成功のみ								
アクセル	3	1	set-up	視界	単体	自動		
効果: ラウンド間行動値+[Lv*2]								
狂戦士	3	5	major	視界	単体	自動	80%	
効果: 対象の次majorD+[Lv*2]C値-1(下限6)								
力の霊水	3	4	auto	視界	単体	自動	80%	
効果: ダメージダイス+Lv ラウンド1回								
奇跡の雫	1	6	auto	視界	単体	自動	100%	
効果: 自分以外を復活、[Lv*5]分HP回復								
コンダクト	1	10	initiative	至近	単体	自動	D	
効果: 自分以外、未行動キャラがmain行える								
無上厨師	★							
効果:								
隠し味	★							
効果:								
効果:								
効果:								

「やれやれ、料理人の手は料理の時だけ借りなよ」
「みんな頑張れえ、僕があとでとびきり美味しい“らんち”を作ってあげるからねえ」

関西料理・上方料理の料理人。和盆が出来た1700年代末生まれ。料理の際に扱う道具から生まれた、オリジン:サイバーのRBである。見た目年齢は50歳ほど。よく着物を着ている。オモイデ様事件の前はDロイス:奇妙な隣人のように料理人や菓子作り職人、あるいはその道具にこっそりと取り憑いて料理を学んでいた。天三が取り付いた料理人は後に大成功したとか何とか。事件後は独立型のRBとして活動することが可能になり、自分で料理を作るようになった。知る人ぞ知るといった感じの隠れ家レストランを経営している。和食、和菓子を作るのがとても得意。本職には負けるが、フレンチなど他の料理も作ることもできる。そんな器量人だが、UGNの仕事もレストランの営業もマイペースな自由人。UGNの依頼は気が向いたら協力するというスタンス。基本的にはレストランをやっている方が楽しいから、だそうな。

戦闘中はどこからか美味しそうな料理の匂いを漂わせつつ誰よりも先に動き、「下ごしらえ」と称して味方のレネゲイドを強化する料理を(味方の手元)に作り出す。一口サイズのプチおにぎりだったり、すぐに飲み切れる量のお吸い物だったりする。会席料理のお通し、椀物くらいの量。この天三の料理を食べることで味方のレネゲイドは活性化させられ、元気がみるみる湧いてくる。本人曰く「僕特製の滋養料理」らしい。日本食らしく、薄すぎず濃すぎず、かつ出汁類の旨味をしっかりと生かした味わいがある。

昔々、大飢饉を経験したことがある。食せずとも生きられる自分を置いて、様々な人間が苦しみ斃れる所を見てきたのだ。